

【リハビリテーション部門講演等】

教育講演

第1日目 (2月9日)

10:40～11:20 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

教育講演 1 (REL1) 症例で考える重症患者の栄養治療の理論と実践の工夫

演者 小谷 穰治(兵庫医科大学救急・災害医学講座/救命救急センター)

司会 古田島 太(埼玉医科大学国際医療センター集中治療科)

11:30～12:10 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

教育講演 2 (REL2) J-PAD のリハビリテーション分野への活用法

司会 田島 文博(和歌山県立医科大学リハビリテーション科)

REL2-1 J-PAD のリハビリテーション分野への活用法 — 医師の立場から

行岡 秀和(大阪行岡医療大学医療学部理学療法学科救急医学講座)

REL2-2 J-PAD ガイドラインのリハビリテーション分野への活用法: 理学療法士の立場から

神津 玲(長崎大学病院リハビリテーション部)

15:40～16:20 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

教育講演 3 (REL3) 早期離床と循環管理

演者 大塚 将秀(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

司会 今中 秀光(徳島大学病院ER・災害医療診療部)

第2日目 (2月10日)

10:30～11:10 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

教育講演 4 (REL4) リハビリテーションと ICU 関連合併症 (VAP/ICU-AW) I

司会 今井 寛(三重大学医学部附属病院救命救急センター)

REL4-1 人工呼吸器関連肺炎の診断と治療

玉城 佑一郎¹, 富加見 昌隆¹, 大内 元¹, 花城 和彦², 近藤 豊², 久木田 一朗², 藤田 次郎³(1. 琉球大学医学部附属病院救急部, 2. 琉球大学大学院医学研究科救急医学講座, 3. 琉球大学医学部感染病態制御講座/第一内科)

REL4-2 ICU-acquired weakness (ICUAW)

黒田 泰弘(香川大学医学部救急災害医学)

11:10～11:50 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

教育講演 5 (REL5) リハビリテーションと ICU 関連合併症 II (ASAC: Analgesia/Sedation-Associated Complications)

演者 布宮 伸(自治医科大学麻酔科学・集中治療医学講座集中治療医学部門)

司会 安藤 守秀(大垣市民病院呼吸器内科)

15:30～16:10 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

教育講演 6 (REL6) ICU での嚥下リハビリテーション

演者 前川 享子(岡山大学病院スペシャルニーズ歯科センター)

司会 平川 昭彦(藤田保健衛生大学災害・外傷外科)

シンポジウム

第1日目 (2月9日)

14:00～15:30 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

シンポジウム 早期リハビリテーション・マニュアル：普及と定着に向けて

座長 高橋 哲也(東京工科大学・早期リハビリテーション検討委員会委員長)
西田 修(藤田保健衛生大学・早期リハビリテーション検討委員会担当理事)

- RSY-1 早期リハビリテーションのための多職種連携
尾崎 孝平(神戸百年記念病院麻酔集中治療部)
- RSY-2 早期リハビリテーションはICUの標準的介入になり得るか？
飯田 有輝(JA愛知厚生連海南病院リハビリテーション科)
- RSY-3 看護師の立場からみた早期リハビリテーション実現に向けての現状と課題
小松 由佳(杏林大学医学部付属病院看護部)

ワークショップ

第1日目 (2月9日)

9:00～10:30 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

ワークショップ1 早期離床を安全に実現するために・・・成功へのヒント～いつでも・どこでも・誰にでも可能な早期リハ～

座長 齊藤 正和(榊原記念病院理学療法科)
中根 正樹(山形大学医学部附属病院高度集中治療センター)

- RW1-1 ICUでの理学療法士専従化が重要である
西原 浩真^{1,2}, 岩田 健太郎¹, 影山 智広¹, 坂本 裕規¹, 小柳 圭一¹, 前川 利雄¹, 瀬尾 龍太郎², 朱 祐珍²
(1.神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部, 2.神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科)
- RW1-2 安全な早期離床の実現に向けて：看護師の立場から
荻浦 拓(東京ベイ・浦安市川医療センター看護部ICU/CCU)
- RW1-3 離床の安全性を代測量から評価する
小幡 賢吾^{1,2}, 高橋 哲也³, 芝 直基², 氏家 良人²(1.岡山赤十字病院リハビリテーション科, 2.岡山大学大学院医歯薬学総合研究科救急医学分野, 3.東京工科大学医療保健学部理学療法学科)
- RW1-4 鎮静コントロールと早期リハビリテーション“Give PEACE a Chance”
古賀 雄二(山口大学医学部附属病院)
- RW1-5 認知機能に対する早期リハビリテーション
児島 範明¹, 森沢 知之^{1,2}, 端野 琢哉³(1.関西電力病院リハビリテーション科, 2.兵庫医科大学リハビリテーション学部理学療法学科, 3.関西電力病院救急集中治療センター)

16:30～18:00 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

ワークショップ2 多職種によるICUリハビリテーション・カンファレンスの実際 兵庫医科大学病院

座長 森沢 知之(兵庫医科大学リハビリテーション学部)
真淵 敏(兵庫医科大学病院リハビリテーション部)
指定発言 丸川 征四郎(医誠会病院救急医療センター)

- RW2-1 一医師の立場から—
西 信一(兵庫医科大学病院ICU)
- RW2-2 一看護師の立場から—
山岡 綾子(兵庫医科大学病院看護部)
- RW2-3 一臨床工学技士の立場から—
木村 政義(兵庫医科大学病院臨床工学室)
- RW2-4 一理学療法士の立場から—
笹沼 直樹(兵庫医科大学病院リハビリテーション部)

第2日目 (2月10日)

8:40～10:10 第12会場 ホテル グランパシフィック LE DAIBA 29F 銀河

ワークショップ3 ICUリハビリテーション Pros and Cons

座長 小幡 賢吾(岡山赤十字病院リハビリテーション科)
福岡 敏雄(倉敷中央病院総合診療科・救命救急センター)

RW3-1 人工呼吸器管理下の呼吸理学療法～人工呼吸器を駆使すべき～
鶴澤 吉宏(亀田総合病院)

RW3-2 人工呼吸管理下の呼吸理学療法～徒手の理学療法手技を駆使すべき～

花田 匡利, 神津 玲, 及川 真人, 三尾 直樹, 森本 陽介, 矢野 雄大(長崎大学病院リハビリテーション部)

RW3-3 挿管人工呼吸器下でも歩行訓練は積極的に行うべき
平澤 純(公立陶生病院中央リハビリテーション部)

RW3-4 挿管人工呼吸管理下での歩行練習は慎重に行うべき
安藤 守秀(大垣市民病院呼吸器内科)